

地域医療研修を終えて

名古屋第一赤十字病院

1ヶ月間、新城市民病院にて地域医療研修を致しました。指導医の先生方のみならず、コメディカルの方々、事務さん、救急隊の方々、作手診療所の皆様にも大変親切に接していただき感謝しております。

研修では総合診療科の初診外来を中心に担当致しました。診察中は上席の先生方に常に相談できる環境であり、貴重な知識・経験を教えて頂きながら安心して診療を行うことが出来ました。また、午後に総合診療科の先生が全員集まって当日初診外来を受診した患者さん全員を振り返る時間があり、問診すべき事柄・取るべき身体所見のフィードバックを数多く頂きました。

新城市民病院の研修では医学的な知識を学ぶのみでなく、ADL、家族構成、住んでいる環境、医療資源・介護資源へのアクセスなど疾患の緊急度とは異なる視点で医療を考える機会があり勉強になりました。普段の研修病院においても、救急外来や救急車の対応で初診を行う機会はあります。しかし、多くの患者さんが訪れる中で緊急性の高い患者に対応することで手一杯であり、患者さんのお話をしっかりと聞いて生活を想像する時間はありませんでした。新城市民病院では、「患者さんが今一番困っていることはなんだろう」「何をして差し上げることが今後患者さんのためになるのだろうか」という視点で初診の患者さんと接する経験を多く積むことが出来ました。

三次救急病院への搬送が必要な患者さんが来院された際は、何度か救急搬送に同乗致しました。救急車内では、救急隊の方々とともに患者さんの容態が変わらないかチェックし、緊張感のある時間を過ごしました。使える医療資源の限られる救急車内で、急変時にどのような対応をすべきか勉強する機会となりました。また、救急隊の方々とは新城市・設楽町・東栄町・豊根村の医療状況・救急搬送状況についてお話する機会があり、普段研修している名古屋市内との違いを学びました。

作手診療所では行える検査が限られる中で、病歴聴取と身体所見の大切をと共に、「患者さんとお医者さん」の信頼関係に基づいた医療の重要性を学びました。新型コロナウイルスの影響により、訪問リハビリテーションの見学などへは伺うことができなかったのは大変残念でしたが、最も地域医療研修らしい時間を経験できました。受け入れて頂いた作手診療所の皆様に感謝いたします。

初期研修医として大変勉強になる1ヶ月であり、学んだ事柄を今後の診療に活かしていきたいと思えます。また、私は将来医療行政に関わる仕事に就きたいと考えており、地域医療について感じたことを忘れないようにしていきたいと思えます。繰り返しになりますが、今回の研修でお世話になったすべての皆様に感謝申し上げます。